

事業計画

昨年度は、新型コロナウイルス5類感染症への移行に伴い、経済活動が少しずつコロナ前の状況に戻りつつあります。

それに伴い人手不足が深刻化し、また原材料価格等の高騰が続く中、多くの中小企業はコスト上昇分を価格に転嫁し切れず収益が圧迫されながらも、人材の確保・維持のための賃上げに取り組まざるを得ない状況に直面しております。

本市につきましては、4年ぶりに「麺-1グランプリ」や「館林まつり」が開催されるなど、様々なイベントや催しが行われ賑わいが戻ってきました。本年度も引続き組織基盤の一層の強化に努め、社会経済変化に対応するための支援や、管内中小・小規模事業者の課題解決に向けたより丁寧な「伴走型支援」を実施するとともに、地域の企業ニーズに即した会員

サービスを積極的に行います。

特に、昨年度から実施している「商工たてばやし」の配布による全会員事業所訪問を通して、気軽に相談できる「かかりつけ医」としてのワンストップ相談体制をより充実し、会員満足度の向上を目指します。

具体的には、事業承継支援や次世代育成として高校や大学等と連携し会員事業所の保有する技術や製品を使った「新製品開発」などの支援や行政に対する政策提言、小規模企業の経営支援、地域活性化に向けた諸事業など様々な活動を展開します。

そのためにも、部会・委員会活動の活性化を図るとともに、商工会議所職員個々のスキルアップに努めます。また関係機関との連携を強化し、人口増加施策や中心市街地の賑わい創出など地域経済の活性化に取り組みます。

重点推進事業

1. 伴走型支援の強化

国・県・市等の補助金・助成金の申請支援や社会経済変化に対応するための新分野展開、業態転換など、新たなステージに向けた事業再構築の伴走支援を強化いたします。

2. 会員満足度の向上・会員拡大及び財政強化

「商工たてばやし」の配布による全会員事業所訪問を通して、気軽に相談できる「かかりつけ医」としてワンストップ相談、ステージに応じた専門家派遣による「伴走支援」を行い会員満足度の向上を目指します。

併せて商工会議所の基礎となる会員増強による会費の増収と共に、共済加入推進による財源強化を図ります。

3. 創業と事業承継対策の強化

本市の産業振興上の課題として「事業所数の減少」が進んでおります。

そのため市内での「創業・起業の推進」と「事業承継対策」を重点に相談・支援対策を図ります。

創業の推進については「たてばやし創業支援ネットワーク」の活用による支援や高校等と連携し、会員事業所の保有する技術や製品を活用した、新製品開発などの支援にも取り組みます。

事業承継対策についても「事業承継計画書作成」や「マッチング」等の支援を図ってまいります。

4. 事業継続力強化支援計画及び経営発達支援計画に基づく事業展開

中小企業の防災・減災対策など、事業継続力強化計画(BCP)の必要性や重要性の認識を広め策定を支援すると

ともに、認定後再確認のためのセミナー等を実施します。また経営発達支援計画に基づき、管内中小・小規模事業者の課題解決に向け、経営分析から事業計画書の作成、事業実施や販路開拓までを伴走支援します。

5. 中心市街地活性化対策の推進

谷越・本町一丁目商店街など、まちなかの中心商店街となっている中央通り線の道路拡幅事業を踏まえ、商業振興・まちづくりの視点からの具体的対策を実施します。

併せて「まちづくり会社」等と連携し、地域活性化や商業集積などソフトハード面での推進を図ります。

6. 産業人材育成事業の推進

市内の高校等から輩出される人材の多くは、進学や就職のために地元に残らず市外(県外)へ流出する状況にあり、地元中小企業にとって人材不足が深刻化している。

大学生・高校生のU・I・Jターンを促進するため、地域企業ガイド等を作成し産業を支える若年労働力の創出・定着を図ります。

さらにキャリア教育「職業に関する学習」として、小・中・高校生に対して地元経営者等の講話やマナー講座などを通じて、将来を担う産業人材の育成を図ります。

7. 資金繰り支援の強化

コロナ禍から社会経済が正常化する中で、業績回復が遅れた事業者や賃上げ対応、物価高騰に伴うコスト増などにより、資金繰りの悪化が懸念される。

このため資金繰りに困窮する事業者へマル経資金(小規模事業者経営改善資金)等の金融支援の強化を図ります。